

2018年5月16日
s a n t e c株式会社

2017年度決算説明会（機関投資家向け） 主な質疑応答（要旨）

当社出席者：代表取締役社長 鄭 台鎬

質問1：2018年の見通しについて、上期、下期の業績予想をセグメント別で教えてください。

回答1：上期については、業績予想が決算短信で開示されております。上期21億円、年間で47億円です。どのセグメントにおいても、だいたい上期と下期で4対6くらいと現時点では想定しています。

質問2：来期（2019年度）に、2018年度の下期の2倍というのは可能なのでしょうか？

回答2：そうなるように努力していきたいと考えています。ただし、2018年度下期に市場が回復傾向となるというのは、あくまで現時点の想定である点ご承知おきください。

質問3：次世代の光源はどういうイメージですか？

回答3：OCTでは、スキャニングレーザーを利用するのですが、これは1秒間に1000回くらい波長を変える光源です。現在開発しているのは、技術的には、第3世代となる面発光レーザーというものです。第1世代は、ポリゴンミラー、第2世代がMEMS、第3世代がVCSEL（面発光レーザー）となります。特徴としては、非常に小型化できることです。1秒間に1000回スキャンできるスピードそのものを変えられるため、その機能を使うと、今まで使えなかった分野への応用が可能になります。しかしながら、技術的には非常に難しいため、一部の波長範囲の狭いものはすでに販売しているが、市場から要求されるものはまだ開発中です。

質問4：光部品事業において、2017年度のセグメント売上高の減少以上に営業利益に影響が出ていると思うのですが、その理由は为什么呢？

回答4：固定費は同じであり、17億円を越えると利益が大きくなります。

質問 5 : 光通信は、買い控えという話がありましたが、地域的にはどの地域になるのでしょうか？

回答 5 : 地域的には、アメリカと中国のインパクトが大きいです。

.....

質問 6 : 16 ページの地域別前年度売上比較の図から、OCT の売上では、アメリカとアジアが 2016 年度と比較して、2017 年度が下向きというのは、どういう理由からでしょうか。

回答 6 : OCT は、日本は産業向けが良かったですし、ヨーロッパにおいては、医療用、産業向けも数量は少ないがありました。米国では、眼科機器向けのベンチャーに販売していましたが、2017 年度はその販売が良くなかったため、売上が 2016 年度に比較して減少しました。アジアについては、台湾の車関係等がおととしに比べて、前年が良くなかったという理由があります。いずれにしても、ヨーロッパとアジア地域の売上高は日本、アメリカと比較してもあまり多くはありません。

.....

質問 7 : OCT の売上の中で、アメリカの眼科機器ベンチャー向けの売上というのはどのくらいなのでしょう？

回答 7 : OCT の売上としては、日本が 7 割、北米 1 割で、日本が圧倒的に多い状況です。アメリカの医療機器ベンチャー向けというのは、北米の 1 割に含まれます。

.....

以上